

有料

DANGEROUS REFUSE

キケンごみ

火が出る
恐れがあるもの



- 必ず「燃やせないごみ袋」に「キケン」と表示してください。
- 12P～13Pの「燃やせないごみ」と「キケンごみ」を同じ袋に入れないでください。
- 割れ物・刃物類は「燃やせないごみ」です。

火が出る恐れのあるもの

スプレー缶やガス缶などの穴あけは不要ですが、必ず中身を使い切り、空にしてください。



(例)

- スプレー缶 ●プラスチック製エアゾール容器 ●ガス缶 ●ライター ●未使用の花火 など

- 未使用のマッチや花火は水に浸してください。
- スプレー缶やガス缶の穴あけは不要ですが、穴をあけた場合も「キケンごみ」として出してください。

収集車火災の一番の原因は スプレー缶などの混入です!!



スプレー缶・卓上ボンベ・ライターなどが「燃やせないごみ」に混入したことが原因で、ごみ収集車の火災が発生しています。「火が出る恐れのあるもの」は収集車の横などに別積みしていますので、ルールをしっかりと守って出してください。

プラスチック製エアゾール容器も 「キケンごみ」



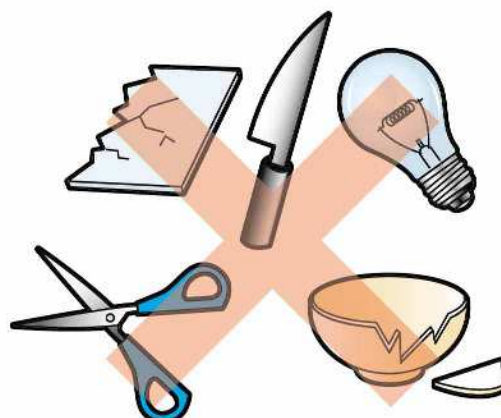
プラスチック製エアゾール容器は、マークがついていても「キケンごみ」で出してください。

キケンごみと間違われやすいもの

- 食器
- 耐熱びん
- 汚れたびん(飲料や食品等)
- 包丁 など

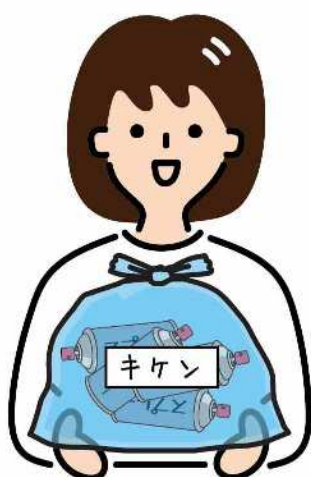
■キケンごみではなく、
「燃やせないごみ」として出してください。

12ページ参照



ガス・スプレー缶の中身がどうしても抜けないときは

燃やせないごみ袋に入れ、市役所廃棄物管理課窓口(22番)へお持ちください。



- 職員で確認し、中身が抜けないものは窓口で回収します。
- 職員で確認し、中身が抜けるものと判断した場合は窓口でお返ししますので、ご自身で中身を抜いて出してください。
- 中身が抜けないからといって、ご自身での穴あけはキケンですのでやめましょう。
- キャンプ用のガス缶等はメーカーにガス抜きの方法を確認してください。
- ガス缶やスプレー缶は消防署等には持っていかにキケンごみで出してください。

ライターの液体残っていませんか？



- ライターのレバーを押し続けると、火が消えていても中身は放出されます。
- 中身が残っているものは収集できません。

キケンごみの捨て方を動画で確認

- スプレー缶やライターの中身の抜き方や注意点について、実際に作業をしながら解説しています。是非ご覧ください。

